

日本社会保障法学会会報第 46 号

発行日：2020.4.1 発行人：新田秀樹 編集人：西田和弘 発行：日本社会保障法学会
本部事務局住所：〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学法科大学院 西田研究室気付
Tel：086-251-7490 Fax：086-251-7373（共用） E-mail：sslawjimu@gmail.com
URL：http://www.jassl.jp/ 会員数：514 人（2020 年 4 月 1 日現在）

代表理事就任にあたって 第 20 期代表理事 菊池馨実（早稲田大学）

2020 年 3 月の日本社会保障法学会代表理事選挙において、第 20 期代表理事に選出されました。慣例に従い、就任にあたってのご挨拶を申し上げます。

超少子高齢社会の到来を迎え、社会保障制度のあり方は、いうまでもなく日本が抱える重要政策課題となっています。ただし、社会保障を対象領域とする日本社会保障法学会は、近年、やや活気に欠けるようにみえます。会員が減少傾向にあることも、そのひとつの象徴といえるかもしれません。

もとより社会保障法学という学問領域の発展は、年 1 回の大会を軸とする学会の活動によってのみ達成され得るわけではありません。基本的には、個々の研究者の弛みない研究の積み重ねによって、学問の進化、そして深化が図られるものでしょう。

毎年発刊される学会回顧の類を、他の法領域との比較で客観的に「観察」すると、他の実定法領域と比べて、学術的に「厚み」のある研究書や学術論文などの数が、少ないようにみられます。しかし、学界の進捗に寄与し得る貴重な業績を挙げている中堅以下の世代の研究者は、確実におられます。

「学会の発展に尽くす」には、様々なアプローチがあり得るでしょう。その中で、私は、こうした現在及び将来の学界を担う研究者を適切に評価し、学会に積極的に関与していただけるような手立てが必要ではないかと考えてきました。

学会が年 1 回化される一方、喫緊の社会保障を取り巻く課題が山積する中であって、従来型のシンポジウム報告だけでなく、そうした直近の課題に機動的に対応できるような柔軟な体制づくりも必要です。このことは、先に述べた「厚み」のある研究を目指すことと並んで、学会の社会貢献や、法的（解釈論的・政策論的）研究の「裾野」を広げるとの観点からも、有意義と思われます。

会員の皆様のご賛同をいただける限りで、一步でも学会を前に進めることができたらと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

年会費納入のお願い 事務局長 西田和弘（岡山大学）

2019 年 5 月 26 日の第 74 回大会総会において、年会費を 9,000 円とすることが承認されました。別途送付いたします振込票により、お早めに納入いただければ幸いです。

なお、海外居住等でやむを得ずクレジットカード決済など別の手段でお支払いいただく場合は、手数料は会員個人でご負担ください。手数料等を考慮の上、学会口座に入金される金額が 9,000 円となるようにお支払いください。

第 75 回大会開催案内

事務局長 西田和弘（岡山大学）

日本社会保障法学会第 75 回大会が下記の通り開催されます。皆様お誘い合わせの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

＜新型コロナウイルスの影響により中止する場合があります。学会ホームページ「お知らせ」欄を随時ご確認ください。＞

・ 日 時：2020 年 5 月 16 日（土） 9：30～17：00（9：00 受付開始）

5 月 17 日（日） 9：00～13：10（8：30 受付開始）

・ 会 場：佐賀大学本庄キャンパス（〒840-8502 佐賀市本庄町 1）

大学までの交通、大学内の案内につきましては本会報末尾をご参照ください。
お問い合わせ先 （web 版には掲載しません）

・ 大会次第

受付開始	5 月 16 日	9:00
	5 月 17 日	8:30
開会	5 月 16 日	9:30
	5 月 17 日	9:00

第 1 日目 2020 年 5 月 16 日（土）シンポジウム・総会(教養養育 2 号館 1 階 2101 教室)

共通テーマ「『働き方の多様化』と社会保障法」

＜第 1 セッション（午前）＞

グループテーマ「ディーセントな働き方の実現と社会保障法」

司会：木下秀雄（龍谷大学）

○木下秀雄（龍谷大学） 9:30～9:35
「趣旨説明」

○武井寛（龍谷大学） 9:35～10:00
「就労構造の変容と社会的保護」

○嶋田佳広（佛教大学） 10:00～10:30
「『多様な働き方』と社会保障～建設業を例に」

○濱畑芳和（立正大学） 10:30～11:00
「複数就業と社会保障～大学非常勤講師を例に」

○山本忠（立命館大学） 11:00～11:25
「ディーセントな働き方と生活保障のための課題」

休憩 11:25～11:45

○質疑応答 11:45～12:45

開催校あいさつ・総会 12:45～13:15

休憩（昼食） 13:15～14:00

（休憩室・昼食室として、教養教育2号館2階 2201教室を使用できます）

<第2セッション（午後）>

グループテーマ「多様な働き方を可能とする社会保障法制像」

司会：水島郁子(大阪大学)

○水島郁子（大阪大学） 14:00～14:10
「趣旨説明ーイノベティブな共生社会における社会保障法制像」

○高島淳子（京都産業大学） 14:10～14:40
「社会保障法制における自営的就業者の位置づけと保障のあり方」

○倉田賀世（熊本大学） 14:40～15:10
「就業困難者を受容し得る社会保障法制の構築に向けて」

○丸谷浩介（九州大学） 15:10～15:40
「イノベティブな共生社会における社会保障法」

休憩 15:40～16:00

○質疑応答 16:00～17:00

大会第1日目終了 17:00（予定）

17:30～情報交換会（大会終了時刻により遅れることがあります）

第2日目 2020年5月17日(日) 個別報告・ミニシンポジウム（教養教育2号館1階

2101教室）

個別報告

○林健太郎（北星学園大学） 9:00～10:00
「要保障事由としての「失業」の意義とその限界

ーイギリスにおける「失業」に対する所得保障法制の形成史を踏まえて」

司会：菊池馨実（早稲田大学）

ミニシンポジウム「東アジアにおける最低生活保障法制ー公的扶助法を中心に」

司会：片桐由喜（小樽商科大学）

○片桐由喜（小樽商科大学）

「趣旨説明」 10:10～10:20

- 洪性珉（韓国法制研究院）…………… 10:20～10:55
「韓国の公的扶助法制における扶養義務—国民基礎生活保障法上の扶養義務者基準を中心に」
- 根岸忠（高知県立大学）…………… 10:55～11:30
「台湾における公的扶助法制と私的扶養—社会救助法と民法上の扶養義務との関係に焦点をあてて」
- 本澤巳代子（筑波大学）…………… 11:30～11:50
「日本法の状況—韓国法及び台湾法の報告を受けて」
- 休憩…………… 11:50～12:10
- 質疑応答…………… 12:10～13:10

大会第2日目終了…………… 13:10（予定）

※同封の大会出欠確認はがきに必要な事項を記載の上、**2020年5月1日（金）**までにご返送いただきますようお願いいたします。

※第1日目の昼食を希望される方は、大会出欠確認はがきの「2. 昼食」の「要」に○をつけてください。昼食を希望された方は、大会当日、受付にて昼食券を購入してください。代金は1,000円です。なお、昼食券を申し込みされた方は必ずご購入ください。第2日目の昼食の用意はありません。

※情報交換会の参加を希望される方は、大会出欠確認はがきの「3. 情報交換会」の「出席」に○をつけてください。参加を希望された方は、大会当日、受付にて情報交換会券を購入してください。費用は5,000円です。情報交換会の会場は、佐賀大学内「かささぎホール」です。

※はがき投函前に大会中止が発表された場合は、住所等諸事項の変更（オンラインでの会員自身による直接変更を推奨しております）や次々回学会テーマへのご意見がない場合は、ご投函には及びません。

第75回大会時各種会議案内 事務局長 西田和弘（岡山大学）

- 5月15日（金）14:00～16:00 企画委員会……………経済学部3号館ティーチングコモンズ
- 5月15日（金）16:00～17:30 第19期最終理事会……………経済学部3号館2階会議室
- 5月15日（金）17:30～18:00 第20期理事会……………経済学部3号館2階会議室
- 5月16日（土）13:15～14:00 第20期理事会……………経済学部3号館2階会議室
- 5月16日（土）13:30～14:00 編集委員会……………経済学部3号館ティーチングコモンズ

第75回大会時その他案内 事務局長 西田和弘（岡山大学）

- 5月16日シンポジウム報告者・司会者控室……………教養教育2号館1階
2103AL教室（第1セッション）
2108AL教室（第2セッション）
- 5月17日ミニシンポジウム報告者・司会者控室……………教養教育2号館1階 2103AL教室

企画委員会からのお知らせ 企画委員長 嵩さやか（東北大学）

第75回大会は、2020年5月16日（土）・17日（日）の2日間、佐賀大学で開催します。大会1日目は、「『働き方の多様化』と社会保障法」の共通テーマの下、異なった視点に基づく2つのセッションを行います。午前のセッション「ディーセントな働き方の実現と社会保障法」では、木下秀雄会員の趣旨説明、武井寛会員、嶋田佳広会員、濱畑芳和会員、山本忠会員の各報告を予定しております。午後

のセッション「多様な働き方を可能とする社会保障法制像」では、水島郁子会員の趣旨説明、高島淳子会員、倉田賀世会員、丸谷浩介会員の各報告を予定しております。

大会 2 日目には、午前に林健太郎会員による個別報告とミニシンポジウムを行います。ミニシンポジウム「東アジアにおける最低生活保障法制—公的扶助法を中心に」では、片桐由喜会員の趣旨説明、洪性珉会員、根岸忠会員、本澤巳代子会員の各報告を予定しております。

第76回大会は、2021年5月22日（土）・23日（日）の2日間、和歌山大学で開催される予定です。同大会では、3つのミニシンポジウムを予定しております。ミニシンポジウム①「非典型的な要保障事由に対する給付のあり方とその法的評価（仮）」は秋元美世理事・片桐由喜理事を中心に、ミニシンポジウム②「LGBTQと社会保障法制における配偶者概念の再検討 —排除から包摂へ—（仮）」は衣笠葉子理事・増田幸弘理事を中心に、ミニシンポジウム③「累犯知的障害者の自立支援（仮）」は丸谷浩介理事を中心に、それぞれ準備が進められております。各ミニシンポジウムの内容や大会スケジュール等については、現在検討中です。また個別報告のエントリーも受付けております。第76回大会の個別報告は2020年9月30日が締め切りとなりますので、それまでに企画委員会までお申し出下さい（dake@law.tohoku.ac.jp）。

企画委員会ではシンポジウム等の企画や大会運営のあり方等について検討を進めております。会員各位からも、今後取り上げるべきテーマや大会運営のあり方等につきまして、是非ご意見をお寄せいただければ幸いです。

学会誌投稿論文の募集について 企画委員長 嵩さやか（東北大学）

学会誌投稿論文を募集しています。ふるってご応募ください。募集要領は下記の通りです。

なお、詳細は当学会ホームページをご参照ください（<http://www.jassl.jp/>）。

記

- 1 学会誌に発表する論文は未発表のものに限ります。
- 2 投稿者は本学会会員に限ります。
- 3 投稿された原稿は、論文審査委員会が内容を考慮して選定した論文審査委員に、投稿者の氏名を伏して審査を委嘱します。その結果に基づき、論文審査委員会が採否を決定します。採用された原稿の掲載方法等については、学会誌編集委員会決定します。
- 4 採用にあたっては、より一層内容の充実を図るために、補筆や修正等をお願いすることがあります。
- 5 原稿の分量は、原則として、14,000 字（200 字詰め原稿用紙 70 枚）以内とします。
- 6 執筆要領は、別にお渡しします。応募ご希望の方は、学会事務局まで請求してください。なお、公正な審査を行うため、執筆者を特定・推定させるような表現はお避けください。たとえば、注の中で投稿者自身の執筆論文・著書を引用する場合には、「拙稿」といった表現は用いず、他の執筆者の論文等の引用と同じスタイルで引用してください。
- 7 英文タイトルおよび英文要約（200 語以内）を必ずつけてください。
- 8 投稿論文は、コピーを含め 3 部提出してください。提出された原稿は、採否にかかわらず返却いたしません。
- 9 学会誌第 36 号（2020 年度発刊）への投稿の締め切りは、2020 年 5 月 31 日（必着）とします。
- 10 投稿原稿は、学会事務局気付「論文審査委員会」宛に、簡易書留にてご送付ください。

〒700-8530 岡山市北区津島中 3 丁目 1 番 1 号

岡山大学大学院法務研究科 西田和弘研究室気付

日本社会保障法学会事務局「論文審査委員会」宛

*2021 年度発刊予定の第 37 号（2020 年 6 月 1 日～2021 年 5 月 31 日）への応募は、「新」本部事務局あてとなります。6 月 1 日以降にホームページでご確認ください。

学会奨励賞候補作品の募集について 企画委員長 嵩さやか（東北大学）

2020 年度学会奨励賞候補作品の推薦（自薦も含む）を、下記の要領で承ります。
なお、推薦された候補作品は審査委員会では審査の上、受賞者は総会で表彰いたします。

記

- 1 対象作品：2020 年（1 月から 12 月）に公刊された著作および論文
- 2 著者・筆者の年齢：当該著書・論文公刊時に 40 歳未満の会員
- 3 受賞者数：原則として 1 名
- 4 締め切り：2021 年 1 月 31 日
- 5 推薦の宛先（事務局移転の関係上、2020 年 6 月 1 日以降は、下記ではなく、ホームページ記載の「新」本部事務局にお願いします）

〒700-8530 岡山市北区津島中 3 丁目 1 番 1 号
岡山大学大学院法務研究科 西田和弘研究室気付
日本社会保障法学会事務局

学会誌編集委員会からのお知らせ 編集委員長 国京則幸（静岡大学）

・学会誌 35 号は、執筆会員のみなさまのご協力により、無事、予定通り 2019 年 12 月刊行の運びとなっております。執筆会員のみなさまには改めてお礼申し上げます。また、36 号以降も同様のスケジュールで取り組んで参りますので、会員のみなさまにはご協力のほどよろしくお願いいたします。

・75 回大会の 1 日目（5 月 16 日（土））の昼食休憩時に、編集委員会（36 号）の開催を予定しております（昼食各自持参）。委員の方はご参集ください。なお、編集委員会詳細については追ってメールにてお知らせいたします。

理事・監事の選出について 選挙管理委員長 原田啓一郎（駒澤大学）

第 20 期理事・監事選挙の結果、推薦理事の選出結果についてご報告いたします。

（理事選挙）

1. 開票日時 2020 年 2 月 1 日（土曜）15 時～18 時 30 分
2. 開票場所 岡山大学 社会文化科学等総合研究棟 1 階 OATC 会議室
3. 有権者総数等 有権者総数 472 名中投票者数 140 名、投票総数 $140 \times 5 = 700$ 票
4. 有効投票数等 有効投票数 682 票（白票数 13 票）、無効投票数 5 票
5. 選挙結果（50 音順、敬称略）

当選	石田 道彦	井上 英夫	片桐 由喜	金川めぐみ
	菊池 馨実	木下 秀雄	倉田 賀世	鈴木 静
	関 ふ佐子	高田 清恵	嵩 さやか	中野 妙子
	西田 和弘	西村 淳	原田啓一郎	尾藤 廣喜
	平部 康子	丸谷 浩介	水島 郁子	矢嶋 里絵

（2 名が同得票であったため、選挙管理委員長による抽選を行った）

次点 国京則幸

（監事選挙）

1. 開票日時 理事選挙に同じ
2. 開票場所 理事選挙に同じ
3. 有権者総数等 有権者総数 472 名中投票者数 140 名、投票総数 $140 \times 2 = 280$ 票
4. 有効投票数等 有効投票数 257 票（白票数 21 票）、無効投票数 2 票

5. 選挙結果（50 音順、敬称略）

当選 大曾根 寛 神尾 真知子

次点 山田 晋

代表理事の選出について 事務局長 西田和弘（岡山大学）

第 20 期代表理事選挙の開票結果を以下の通り報告いたします。

1. 開票日時 2020 年 3 月 6 日（金）10 時～10 時 30 分

2. 開票場所 岡山大学法科大学院資料室

3. 開票結果

有権者総数 20 名、投票者数 19 名

うち

有効投票数 19 票、白票数 0 票、無効投票数 0 票

当選 菊池馨実

日本社会保障法学会理事会議事録要旨 日本社会保障法学会事務局

○2019 年度 5 月定例理事会（19 期）

・日時：2019 年 5 月 24 日（土）16:00～18:15

・場所：愛媛大学城北キャンパス校友会館 2 階サロン

・議事内容

◎2018 年 10 月 26 日理事会の議事録、第 74 回大会の報告タイトル・タイムスケジュールおよび一時保育担当理事の交代について、新田代表理事よりいずれもメール審議にて承認済みであることの確認が求められ、異議なく承認された。

① 第 74 回大会（2019 年 5 月 25 日、26 日）の運営について（略）

② 第 75 回大会（2020 年 5 月 16 日、17 日）の運営について（略）

③ 第 76 回大会以降の運営について（2021 年 5 月以降）（略）

④ 学会誌投稿論文について（略）

④ 学会奨励賞について（略）

⑤ 学会誌編集委員会より

国京編集委員長より、学会誌 35 号は年内刊行予定、原稿締め切りは 7 月末である旨、報告された。

また、法律文化社との学会誌出版契約書について、契約当初からの変更事項の取りまとめ、見直しを含め改訂をおこなうべく、契約書（案）が提示され、了承された。

⑥ 2018（平成 30）年度決算について

決算案について、西田事務局長より資料に基づく説明が行われた後、大曾根監事より適正な執行がなされた旨の監査報告がなされ、異議なく承認された。

⑦2019（平成 31）年度予算について

2019 年度予算について西田事務局長より極めて厳しい予算状況であること等の説明があり、併せて、新田代表理事より、一般会計予算での運営中、万が一予算不足がおきた場合は、特別会計予算より 70 万円を上限として一時的な借入れを行い、5 年を目途に返済することが提案され、一括して承認された。

⑧ 年会費の引き上げについて

2020 年度より年会費 9,000 円とすることが承認された。大学院生会員などへの割引制度については、今後の財政状況を見ながら、将来的課題とすることとされた。

⑨ 入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください。）

⑩ その他（略）

西田事務局長より、2019 年度は会員名簿作成年であり、学会 HP[2019.4.16]お知らせで告知のように、2019 年 6 月 30 日時点でのデータに基づき、名簿を作成することが報告された。

○2019年度10月定例理事会（19期）

- ・日時：2019年10月18日（金）16:00～18:00
- ・場所：佛教大学二条キャンパス N1-741 会議室（二条 C7F）
- ・議事内容

冒頭、2019年5月24日、理事会の議事録については、メール審議済みであることが確認された。

①第75回大会（2020年5月16日（土）・17日（日））の運営について（略）

②第76回大会（2021年5月）の運営について

嵩企画委員長より、第76回大会について、以下のとおり説明がなされた。

大シンポジウムを行わず、ミニシンポジウム3つで進める方針である。

日程 2021年5月22日（土）、23日（日）

会場 和歌山大学（金川めぐみ理事）

スケジュール 1日：フルタイム、2日：午前中

個別報告 2020年10月理事会まで募集

ミニシンポジウム3本

③第77回大会以降の運営について（略）

④学会誌投稿論文について（略）

⑤学会奨励賞について（略）

⑥奨励賞審査委員の委嘱について

新田代表理事より奨励賞審査委員会の立ち上げについて提案がなされ、異議なく承認された。

これを受けて、新田代表理事より、2020年度奨励賞審査委員として、木下理事、秋元理事、本澤理事、加藤理事、新田代表理事の5名に委嘱したい旨提案があり、異議なく承認された

⑦学会誌編集委員会より（略）

⑧各委員会等より（略）

⑨第20期理事・監事選挙について

*新田代表理事より、第20期の理事・監事選出のための選挙管理委員会発足の提案があり、異議なく承認された。その後、福島豪会員、原田啓一郎会員、中井俊雄会員を委員候補としたいとの提案があり、異議なく承認された。事務局長が開票立会人となる旨が説明された。

*西田事務局長より、別紙配布資料に基づき、選挙日程および役員の決定方法について、説明があった。（事務局補足：第19期の決定方法を踏襲）

⑩ 学会一時保育担当理事について

新田代表理事より、鈴木理事が任期満了のため、新たに平部理事を選任し、倉田理事とともに任に当たっていただきたい旨の提案があり、異議なく承認された。

⑪ 入会者承認、退会者報告（略：下記の「入退会のお知らせ」をご覧ください。）

⑫その他

西田事務局長より、第74回愛媛大会において、事前配布レジュメの学会ホームページ上アップによる各自印刷・持参を試行したが、大きな問題はなかったため、第75回大会より完全実施する。大会当日に忘れた会員への配布はしない。この旨会報にも改めて明記する。なお、傍聴者には事務局で印刷物を用意することが説明され、出席者から異議は出されなかった。

西田事務局長より、学会時の一時保育について、担当理事からの実施要綱の見直し要望を受け、今後メール審議をお願いする旨が報告された。

新田代表理事より、学会創立40周年記念論集について以下の内容で、意見聴取があった。様々意見がでたが、来年夏くらいまでに決めることで一致した。

2019年10月18日～2020年3月31日までのメール審議および報告（一部抜粋）

*2019年11月12日審議依頼の一時保育に関する諸規則は、規約案中、対象児童および実施要領作成・周知手続きの明確化を図り、2019年11月19日をもって、承認された。

*新型コロナウイルスの影響による75回大会の運営に関し、理事・監事から意見聴取を行った（2020年3月26日送信）。

入退会のお知らせ 日本社会保障法学会事務局

・2019年5月24日（金）の定例理事会（19期）で、次の3名の入会が承認されました。
（順不同、敬称略）

松井良和（連合総合生活開発研究所）、雨夜真規子（京都大・院）、森かおり（愛媛大・院）

・2019年5月24日（金）定例理事会（19期）で、次の5名の退会が報告されました。
（順不同、敬称略）

稲葉光彦、佐藤みゆき、近澤貴徳、井上恒男、山下義昭

・2019年10月18日（金）の定例理事会（19期）で、次の5名の入会が承認されました。
（順不同、敬称略）

久岡康恵（筑波大・院）、細川良（青山学院大）、児玉弘（佐賀大）、谷村紀彰（山陽学園短大）、諫山治彦（土幌町国民健康保険病院）

・2019年10月18日（金）の定例理事会（19期）で、次の3名の退会が報告されました。
（順不同、敬称略）

田中秀一郎、山下孝司、三井正信

事務局からのお知らせ 日本社会保障法学会事務局

○学会誌バックナンバーについて

学会誌につき、引き続き、皆様所属の図書館やご近所の図書館等で購入希望を出していただければ幸いです。ご注文につきましては、1号から12号までは委託事務局に、13号以降は法律文化社営業部（Tel：075-702-5830）にお問い合わせください。バックナンバー1号から12号までの在庫数は、学会ホームページにてご確認ください。

○英文パンフレットについて

英文パンフレットの残部が事務局に若干数ありますので、ご入り用の方は本部事務局までメールでご連絡ください。

○次回以降の学会大会について

第76回大会は、2021年5月22日（土）・23日（日）に和歌山大学にて開催される予定です。

○第75回大会（2020年5月16、17日）における一時保育の利用申込みについて

第75大会においては、大会時間中の一時保育を実施いたします。「佐賀大学本庄キャンパス内職員休憩室」にて、委託業者（「おたすけママ」）の保育スタッフが一時保育を行います。なお、詳細は学会ホームページ「お知らせ」欄をご覧ください。担当理事の連絡先については、会員名簿をご参照ください。

○所属・住所等の変更、会費納入状況について

現在、オンラインで会員が直接、行うことができます。詳細についてはホームページをご覧ください。なお、ID・パスワード・会費納入状況は、本部事務局では管理しておりません。お問い合わせは「委託事務局」をお願いいたします。

○会報の訂正お知らせ・追加情報について

会報発行後の訂正・追加情報については、学会ホームページ・トップページの「お知らせ」欄に掲載いたします。大会前にご確認ください。

○役員交代に伴う「本部」事務局の変更について

第20期理事会の発足に伴い、本部事務局が移転することになります。通常は、大会時総会において、移転先を報告しておりますが、今回は、新型コロナウイルスの影響により、そのような方法が取れない可能性があります。2020年5月末に引継ぎを完了し、6月1日より新事務局による事務執行開始の予定で準備を進めております。新しい本部事務局連絡先等はホームページでご確認ください。なお、委託事務局に変更はありません。

＜重要＞事前レジュメダウンロードについて

会員への事前レジュメは学会ホームページ上での配布となっております。

大会開催日 1 か月前までに、学会ホームページ右バナー「各種資料ダウンロード」中にアップします。下記のパスワードを入力して、あらかじめのダウンロード・印刷をお願いいたします。情報管理の観点から、本部事務局・委託事務局ではパスワードの問い合わせにはお答えできません。なお、大会終了から 1 か月を経過した時点で、事前配布レジュメは削除します。

会員・会員外を問わず、個別のレジュメ送付・送信依頼には、対応しておりません。

パスワード：(会報 web 版には本パスワードは記載しません)

＜重要＞新型コロナウイルスの影響による 75 回大会中止の場合の総会承認事項の取り扱いについて

会報 web 版には記載しません。